

人 ピープル



動物愛護ポスターで知事賞
金井 萌々さん（15） 緑が丘町

第二十八回動物愛護ポスターコンクールで知事賞を受賞。今年は県内の小中学校から二万七千点を超える

小さいころから生き物が大好き

応募があり、過去最多の作品が寄せられた中で頂点に選ばれた。「校長先生から知事賞に決まった

受賞作品はハートのマークを女の子が両手で抱えている絵。その中にかわいらしいキリンの親子が描かれている。女の子の頭や手は画面からはみ出していて、とても大胆な画面構成になっているが、明るく鮮やかな絵からは、ほのぼのとした温かさや動物への愛情が伝わってくる。

「夏休み中、長い間デザインを考え、パソコンも使いながら、下絵にさまざまな色を試してみました。そのときに、設定を間違えて上下左右が切れた絵がプリンターから出てき

たんです。これまで応募していた作品と違って、迫力があっていいなと思ったから、その構図でケント紙にアクリル絵の具を塗り、二日間かけて完成させました。賞を狙ってではなく、自分で好きな絵だったから入賞できてうれしかったですね」

両親が大の猫好きで、生まれたころから動物が身近な存在だったという。今も家で猫と亀を飼っている。

「亀の水槽を掃除するのがわたしの当番。幼いころから生き物の世話が好きだったから、楽しくやっています。将来は、動物園の飼育係か野生動物の保護活動などに携わってみたい。そのためにも、今は高校受験の勉強を頑張らなくちゃ」

これからも動物を愛する心を見失わずに、大きく羽ばたいてほしい。

学校つうしん 楽しそうに だんべえ踊り



元総社中学校

九月二十五日、県営陸上競技場で元総社中の体育大会が開かれ、全校生徒五百人がだんべえ踊りを披露しました。踊りの取り組みは昨年からの総合学習の中の「触れ合い授業」で実施してきました。最初は地域の人から直接指導を受け、その後は、体育の時間や昼休みを利用しての練習ビデオなども効果的に使い、熱心に取り組んできました。

鳴子を持った生徒たちは、学年ごとに元氣に入場。緑の芝生の上で三つの輪を作り、仲間と楽しそうに顔を見合わせ踊っていました。



Pick up ぴっくあつぷ

街頭募金に温かい寄付

全国一斉に赤い羽根共同募金運動がスタート。本市でも十月二日から四日まで、JR前橋駅前や市役所前など市内の十三カ所で街頭募金活動が行われました。中心商店街では、街頭に立ったボランティアが募金を呼び掛けると、買い物に来た人た



ちが立ち寄り温かい寄付を。皆さんから寄せられた貴重な浄財は、社会福祉関係の施設や団体などに配分され、有効に活用されます。